

2006年度予算案

区民と党区議団の提案が実現

引き続き、要求実現にがんばります

二月六日の幹事長会に、〇六年度予算の概要が報告されました。予算概要のなかに党区議団がみなさんから寄せられた要望を議会で提案したものが数多く実現しています。その主なものを紹介します。

大企業の道路占用料 港区独自で引上げ

来年度、約二億円の増収

東電やNTTなどの電柱、電話柱が区道上を利用する場合、道路占用料を支払うことになっていました。この占用料は二三区が統一料金としてきました。党区議団は、都心区に見合った占用料、占用することで得る利益にふさわしい占用料の引き上げよう長年提案してきました。港区も党区議団の提案を受け、港区独自の引上げをすることをきめました。当面、十年間毎年一五%ずつ引上げの予定としています。来年度は約二億円の増収になる予定です。中小企業や商店などの占用料の減免制度の拡大も要求しています。

地震による家具の転倒 防止器具購入費の助成 高齢者等には設置費も助成

地震による家具の転倒防止器具等（突っ張り棒、ガラス飛散防止フィルムなど）の購入費用を一万五千円を限度に助成。高齢者や障害者など転倒防止器具を自分で取り付けられない人に対しては、取り付け費用として一万八千円を限度に助成します。党区議団は、阪神淡路大震災を教訓に、地震の時に家具の転倒で下敷きになったり、逃げ道がふさがれないように、区として高齢者世帯などに転倒防止器具を取り付けるよう提案してきたものが実ったものです。

校庭の芝生化が すすみます

党区議団は、ヒートアイランド対策、児童・生徒の健康面からも校庭の芝生化を提案し続けてきました。この間港南中、高輪台小、朝日中、青山中で天然芝



になりました。（学校によって敷設の規模は違います）

来年度は高松中、御成門中で実施予定。今後計画的に広げていく予定です。また、環境教育、ヒートアイランド対策として屋上緑化や壁面緑化等もすすめられます。

出産費用の助成

子どもを出産した保護者に対し、出産にかかった費用（入院費・分娩費 五十万円が限度）から健康保険等からの出産一時金を差し引いた額を支給します。党区議団は出産にともなう費用が多額なことから、出産祝い金（一人十万円）を支給する条例を提案し、その実現を求めてきました。今回、形は違いますが、出産費用の負担軽減が実現することになりました。

卒業アルバム代などの 父母負担の軽減

来年度から、小・中学校の卒業アルバム代（一校当たり二十万円程度）の助成、小・中学校の補助教材の充実、社会科見学及び中学校移動教室等体験学習の充実、漢字検定・英語検定・数学検定費用の助成などの予算を新たに組みます。

党区議団は、人数の少ない学校では卒業アルバムの父母負担が大変なことから、「卒業記念アルバム作成費の補助に関する条例」を提案しました。党区議団の提案を受けて、父母負担の軽減の必要性を認めた教育委員会が新たな施策として予算化されたもの。

通信カラオケ 来年度全館に設置 未導入だった

十一の福祉会館へ

二〇〇五年度に六つの福祉会館に通信カラオケが導入されましたが、残る福祉会館へは、「あと二年かけて順次更新する」という区の姿勢でした。区議団は、通信カラオケの要求は非常に強いので、残る福祉会館

にいつせい導入するよう求め続けてきました。

この要求が予算に反映し、十一館に導入されます。

また、福祉会館で行われている健康トレーニングが港南福祉館を含めた十八館で実施されます。福祉会館によっては、希望者が多く隔週でしかトレーニングが受けられない福祉会館もありましたが、来年度からは毎週受けられるよう改善されます。

区民の健診充実

* 成人健康診査：現在四六歳以上だったものを、四〇歳以上に引き上げます。

* 前立腺がん検診：五五歳から七五歳の奇数年齢の男性を対象に、区内の医療機関で実施します。

* 大腸がん検診、胃がん検診：成人健康検査と合わせて受診できるように、区内医療機関で実施する対象年齢を五一歳から四〇歳に引き下げます。三五歳以上については、検査機関に委託して実施します。

* 乳がん検診：マンモグラフィ検査を区内医療機関で受診できるようにになります。また、一千円の検査費用を負担していましたが、無料で受診できるようになります。

* 三・四力月健診が身近な医療機関で：現在、保健サービスセンター（旧芝保健所）で実施していましたが、今後は身近な医療機関で受けられるようになります。

党区議団は、機会あることに区民の健康を守るための健診・検診の充実を提案してきました。それらが実ったものです。



裏面に主な事業を掲載

《2006年度予算案に盛り込まれた主な事業》 (港区予算概要より抜粋)

区債の繰上償還（'04～'06年 3年間で）	約4億円の節約
起債を繰り上げて償還することで、無駄な利息を節減します。06年度は40億円を償還します。	
道路占用料の改定	約2億円の収入増
大企業の道路占用料を改定。	
家具の転倒防止対策等の促進	1,246 万円
震災時における住居内の安全確保対策を促進するため、区民に対し、家具店転倒防止器具等（突っ張り棒、ガラス飛散防止フィルムなど）を助成します。	
雨水浸透による都市型水害対策の推進	7,055 万円
台風や雷雨などの集中豪雨による都市型水害を抑制するため、車道舗装及び道路排水施設等の雨水浸透施設整備工事を実施します。	
住宅・店舗等建築物耐震診断・改修助成	2億1,022 万円
建築物の耐震診断・耐震改修を促進するため、昭和56年の新耐震基準前に建築された木造住宅の一部を対象に、無料耐震診断と耐震改修の助成を実施します。18年度はこの無料耐震診断を17年度の2倍となる200戸にします。非木造共同住宅の耐震診断助成についても、増額します。	
景観形成推進調査	973 万円
良好な景観形成を図るため、景観法が制定されたことに伴い、区が勧告などの一定の権限を有する『景観行政団体』になることを目指して基礎調査を実施します。	
ヒートアイランド対策の推進	2,702 万円
ヒートアイランド現象の立体的な構造を把握するため、風向風速分布調査を行うほか、屋上緑化等による熱環境改善効果を測定し、ヒートアイランド現象の対策を検討します。	
公園等の整備	52億362 万円
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画公園港南公園整備（19億3,630万円）急速に人口の増加がすすむ港南地区で、区民の憩いの場所の確保を図るとともに防災活動拠点とするため、国有地である陸上自衛隊芝浦分屯地跡地を16年度から4年間かけて取得し、整備します。 ・芝公園整備（3億1,197万円）17年度に平和の灯を設置した区立芝公園を、既存樹木を生かしつつ、防災活動拠点や多目的に活用できる広場等を備えた公園として本格整備します。 ・仮称森の公園整備（26億3,360万円）国（財務省）からの無償使用により、昭和50年から「森の遊び場」として区民が利用してきた国有地について、現在の樹木・高低差のある地形などの緑豊かな自然環境を生かしつつ、公園等として整備・充実するため取得します。 他に ・都市計画公園三田台公園整備 ・飯倉公園整備 ・仮称白金台五丁目児童遊園整備	
省エネルギービジョン策定	839 万円
港区内における二酸化炭素排出量及びエネルギー消費量を調査・推計し、その削減に向けた基本方針及び行動計画等を策定します。	
認証保育所保育料助成	3,881 万円
認可保育園への入園を希望している児童の保護者に対し、待機期間中の認証保育所保育料の一部を助成します。18年度は対象を5歳児まで拡大します。（17年度は0歳児から2歳児までが対象）	

小・中学校エコスクール	2億1,873 万円
環境教育の一環として、ヒートアイランド対策としても有効な屋上緑化を青南小学校、朝日中学校において、校庭の芝生化を高松・御成門中学校においても実施します。また、小・中学校の給食において排出された生ゴミを有機肥料加工し、それに換えて有機栽培農産物を給食に供給するエコ給食ネットの拡充を行います。	
出産費用の助成	1億2,817 万円
出産時の経済的負担を軽減するため、子どもを出産した保護者を対象に、出産費用（入院費及び分娩費）から健康保険組合等の出産育児一時金等を差し引いた全額を助成します。 助成する出産費用の上限（単胎50万円、双胎65万円、3人以上は1人につき15万円加算した額）	
乳幼児健康診査の充実	5,849 万円
保護者がいつでも必要に応じて、かつ身近な場所で受診できるように、3・4ヶ月児の健診を区内の医療機関に委託して実施します。また、虐待予防の観点から、育児不安の強い保護者、虐待の危険がある家族を早期発見・介入し、継続的な支援を行うため、保健所で4ヶ月児の育児相談を実施します。	
学習活動支援保護者負担軽減事業	6,172 万円
区立小・中学校、幼稚園において補助教材の充実、社会科見学及び中学校移動教室等体験学習の充実や卒業アルバムの充実などの学習活動等の支援を行うとともに、保護者の負担軽減を図ります。	
校舎・園舎等の整備	5億6,240 万円
芝浦小学校・幼稚園、港南小学校・赤羽小学校・幼稚園、三田中学校、高陵中学校及び白金台幼稚園の改築事業を推進します。改築にあたっては、地域の人々が利用できる生涯学習機能や避難所機能をあわせ持つ地域に開かれた学校施設として整備を行います。	
小・中学校学校図書館の充実	1億5,027 万円
子どもの国語力の育成、向上を図るため図書の買い替えのほか、パソコンによる蔵書管理システムの導入と書架の更新など学校図書館を充実します。	
各種健診・がん検診等の充実	11億7,096 万円
<ul style="list-style-type: none"> ・成人健康診査（4億9,371万円）対象年齢を46歳以上から40歳以上に引き下げます。 ・前立腺がん検診（1,016万円）55歳から75歳の奇数年齢の男性を対象。 ・乳がん検診（マンモグラフィー検査）（900万円）40歳以上の偶数年齢の女性を対象にして、いる検査を区内医療機関でも受診できるようにするとともに、自己負担金を廃止します。 他に ・歯周疾患予防健診 ・喉頭がん・大腸がん・胃がん検診 ・骨粗しょう症検診 など	
芝公園多目的運動場の開設	9億9,635 万円
老朽化した芝プールを改築し、夏季はプールとして使用でき、他の季節はフットサル場等に転用できる多目的運動場として開設します。	
社会福祉法人運営助成	8,415 万円
特別養護老人ホームにおける衛生管理等の一層の充実を図るため、社会福祉法人に対して運営費の一部を助成します。	